

下山遊水地区

この区域は富士川が洪水時に水を遊水させ下流部へ浸
防を守る大切な働きをもつ場所です。

ゴミや土砂を捨てないで下さい。

身延町

建設省河川工事事務所

富士川川流事務所

TEL 05566-4-2310

2016/01/10

栗倉遊水地区(ヤブ一集)

早川橋

初富集落

430年2月1日

(2018年)

出力

栗倉 2018 (H30) 年 2 月 出力 (ヤブ一集)

別紙

事務連絡 1130年2月16日付 届く。

相談事案 NO1

(1) 相談件名：早川右岸にある身延町栗倉地区遊水池に中部横断道工事残土が盛り土
されており将来どうなるのか今後の方針、計画の説明を求めたい

栗倉
遊水池

(2) 相談内容：中部横断道路工事により発生した掘削残土の処分地として、早川右岸にある栗倉地区地区遊水池に残土が運ばれ盛り土され膨大な量となっている。本来ならば栗倉地区遊水池は、遊水池として治水上大きな役割を果たす重要な場所である。それが残土置場になっており、当栗倉地区遊水池が将来どのようなようになるのか今後の方針、計画の説明を求めたい。

(回答)

甲府河川国道事務所河川管理課長から以下の回答がありました。

早川右岸の身延町栗倉地区はもともと治水計画上遊水池の計画はない、現在の残土置場の場所は河川管理区域の「死水域」(水のつかない範囲)であり、そこを仮置場として利用しており、いずれ他所へ搬出することとなっています。

いずれ他所へ搬出する。

相談事案 NO2

(1) 相談件名：下山地区遊水池に天にも届く高さの中部横断道工事残土が盛り土
されており将来どうなるのか全体の計画説明を求めたい

下山
遊水池

(2) 相談内容：中部横断道路工事により発生した掘削残土の処分地として、身延町下山地区遊水池に残土が運ばれ盛り土され、それが天にも届きそうな高さにまで至る膨大な量となっている。本来ならば下山地区遊水池は、遊水池として治水上大きな役割を果たす重要な場所である。それが残土置場になっており、当下山地区遊水池が将来どのようなのか全体計画の説明をしてほしい。なお、下山地区は「身延町ハザードマップ」の最新版においても、浸水作用を受ける区域に設定されている。

(回答)

甲府河川国道事務所河川管理課長から以下の回答がありました。

富士川右岸の身延町下山地区はもともと治水計画上遊水池に設定されておらず、また、これまでに浸水の実績はなく、埋め立てによる影響はほとんどないものと考えます。

なお、当該残土置場は仮残土置場であり、一部はそのまま堤防として利用し、一部は他地区へ搬出することとしています。

仮残土置場です。

依田町長の施政方針

安らぎと活力ある 開かれた町の実現へ



町長就任以来三年四カ月、公平・公正・誠実の基本姿勢を堅持し、旧町の枠組みに捉われない施策を展開してきた。本年度は、町政運営仕上げの年であり、「安らぎと活力ある開かれた町の実現」を目指して前進する決意である。

町政改革の課題

集中改革プランに基づき、早期退職優遇措置活用による人員削減・ノー残業デーの設定、残業時間削減、給与格付けの厳格運用、宿直制度の見直しによる人件費削減・滞納整理の積極的取り組みによる収確保・公用車削減、消費電力削減等による経費削減に積極的に取り組んできた。

富士川河川敷

中部横断道インター周
辺の地域開発構想の中で、

観光振興

町と商工会とで新しい観光振興ビジョンを策定し、マネー・ジメント組織を立ち上げ、身延ブランド構築、人材育成など具

工業振興

従来の、身延工業団地や峡南地域中核工業団地の企業に対して税制面で支援をしてきた。

今後は、中部横断道整備、国道整備を進め、企業誘致の積極的な推進、既存企業の経営安定化促進、企業の育成に努めていく。

新事業起こし

現在、竹炭企業組合など四事業体があるが、このようなコミュニケーションビジネス起こしをさらに進めていく。就労環境を充実するため、雇用情報の提供・勤労者福祉を進めてきた。今後は町内企業の安定化と企業誘致、通勤環境の整備等、高齢者や女性の就業機会の拡大を図り、定住促進と雇用の充実に努めていく。

空き家バンク制度

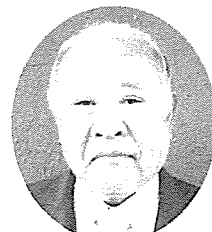
本町に定住し、または定期的に滞在し、経済・

財政健全化法

今年度から、財政健全化法が施行され、地方財政再建制度が抜本的に見直される。自治財政権と自治責任を確立する上で重要なものである。連結実質収支比率、実質公債費比率、将来負担費用比率など、従来の財政指標だけでなく、普通会計、特別会計、一部事務組合会計、広域連合会計など、歳入歳出一体改革の必要性を踏まえ、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立しなければならない。

教育委員長の教育方針

教育委員長 佐野武司



▼学校教育

重点項目として、
・学校の適正配置計画の策定及び具現化
・審議会での調査、審議中。
答申後、早期に具現化

・特別支援教育の推進
特別支援学級の開設。

・複式学級の解消及び
教科専任講師派遣
町採用教員の配置、
教科専任講師派遣の財政措置。

次の項目についても
積極的に推進

・図書教育の充実
・情報教育の推進
・国際理解教育の推進
・食育の推進
・教職員の資質向上のための研修

・学校の安全、児童・生徒の安全
・社会教育
・青少年の健全育成
青少年育成町民会議の活性化。

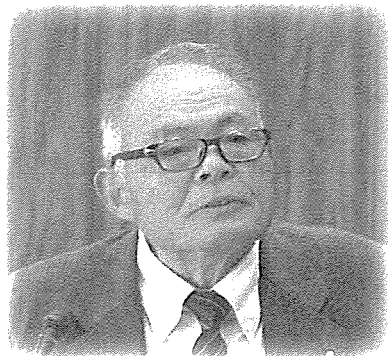
・生涯学習の推進
学習講座、自主グループ育成、集落公民館整備。

・生涯スポーツの推進
軽スポーツ開催、スポーツ少年団の育成・支援。

・芸術文化の振興と文化財保護
町民の意見を取り入れた事業展開に努める。

・高度情報社会への対応
地域資料のデジタル化を継続。

・家庭教育の充実
公民館活動などへの参画を啓蒙啓発。



もちづき 望月 悟良 議員

(2019年)
R元年12月議会にて

問 身近な集落公民館を避難所に

答 施設の状況により指定は可能

問 台風19号による指定避難

所への避難者数は

交通防災課長 29カ所の避難

所を開設し、619人が避難した。要支援者等の内訳では65歳以上の高齢者、幼児等を合せて323人であった。

問 避難所への経路は急傾斜

地や土石流危険渓流等を通るため、身近な集落公民館を避難所にできないか

交通防災課長 今回、区又は

自主防災組織において集落公民館を自主的に開設した地区もあった。今後、地区防災計画作成の折には一時避難所として登録していたり、施設の状況により指定避難所とすることは可能である。

建設発生残土の現状と
処理後の土地の有効活用

問 曙(江尻窪・遅沢)地区

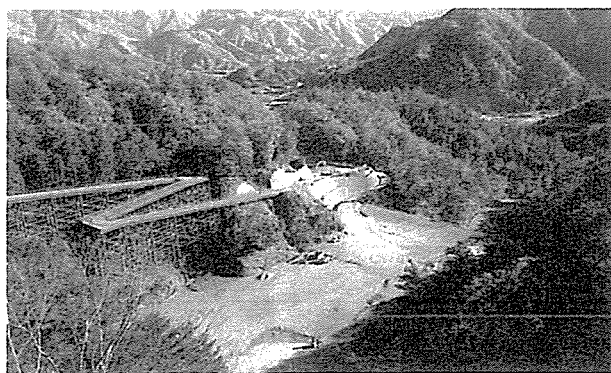
へ搬入している中部横断自動車道建設に伴う残土処理の現状と、リニア建設に伴う建設残土処理場の計画は建設課長 国土交通省による中部横断自動車道建設に伴う残土処理は、江尻窪地内において平成24年から進められ、10年間で9.7ヘクタールへ200万m³を処理する計画となっているが、一部下山地区の護岸築堤等に使用されたため、現在40万m³が処理されている。

残土処理後の町の活用計画では、「あけぼの大豆」の圃場計画等があるので、

早期達成を国へ要望している。

リニア建設に伴う建設残土処理は、遅沢地内のおよそ6.6ヘクタールへ令和元年

度から10年間で130万m³が処理される。



中部横断道残土処理地(江尻窪)

学校施設の環境整備事業
と安全対策

問 身延中学校新校舎建設事業

業の進捗と安全対策は

施設整備課長 「身延中学校新校舎等整備基本計画策定委員会」において協議され

た内容が提言書として取りまとめられ、この提言書を基に関係各課と調整を進め、基本計画の策定に向け、取り組んでいる。

問 建設予定地の安全性は

施設整備課長 国土交通省における富士川浸水想定区域では、建設予定地の下山小学校周辺付近は、破堤基準点における浸水区域外となり安全性はクリアされる。

また、富士川堤内の河川氾濫に伴うバックウォーター現象に対する内水面への災害対策に備えて、樋門の設置も計画されており、安全性が高まる。

【その他の質問】

・「大雨・洪水警報」の周知方法

・中学校新校舎建設に向けた令和2年度事業内容

H24年から
10年間で
9.7ha
200万m³を
処理する計画。
しかし、
現在40万m³
処理されているが
休止状態である。
(2019年)
R元年12月
時点